



永福学園通信

令和8年6月19日

第3号

東京都立永福学園
統括校長 三浦 昭広



未来を拓く「自己選択・自己決定」の学び



就業技術科 副校長 篠塚 奈緒子

関東地方も梅雨入りしました。この季節は、花菖蒲や紫陽花など、雨の日に映える草花に加え、デザイン性のある傘やレインコートも街中に彩りを添えてくれます。新年度が始まってから二カ月がたち、季節の移ろいを感じる頃となりました。子供たちも学校生活に少しずつ慣れ、日々の学習や活動に落ち着いて取り組んでいます。

さて、先日行われた東京都障害者スポーツ大会では、両部門の生徒が日頃の練習の成果を十分に発揮し、それぞれの種目で活躍しました。競技に向かう真剣な表情や、仲間と励まし合いながら取り組む姿は、大変頼もしく感じられました。応援して下さった保護者の皆様、多くの方々の支えに心より感謝申し上げます。

5月29日には、両部門それぞれで主権者教育を実施しました。当日は、杉並区選挙管理委員会の方々をお招きし、選挙の意義や仕組みについて分かりやすく御講演いただきました。生徒たちは、「選挙は何のためにあるのか」「自分たちの一票にはどのような意味があるのか」といった問いに向き合いながら、社会の一員としての役割について考える貴重な機会となりました。

講演の後には、「永福学園区長選挙」として模擬投票を行いました。実際の投票に近い形で体験することで、生徒たちは選挙をより身近なものとして捉えることができたようです。候補者の説明を聞き、自分で考え、比較し、選んで投票するという一連の過程を通して、社会に参加することの意味を実感している様子が見られました。

生徒からは、「政治に関心をもち、正しい判断ができるようにしていきたい」といった感想も聞かれました。主権者教育は、本校の学校経営計画の重点目標「キャリア教育の一層の推進と充実」に深くつながっており、単に選挙の仕組みを学ぶだけでなく、自分で考え、選び、決めるという力を育てる大切な学びです。「好きな色を選ぶ」「好きな活動を選ぶ」といった経験を小学部段階から積み重ねることが、「自己選択、自己決定」の力につながると考えています。そして、その積み重ねが、やがて自分の夢や生き方に結びついていくことを願っています。

本校では、今年度、両部門で連携して生徒会を発足します。これに伴い、9月16日の生徒会役員選挙に向けて選挙管理委員を選出し、選挙の実施を告示しました。より良い学校生活を実現するために、生徒自身が学校のことを考え、意見を出し合い、仲間と協力しながら行動していくことが期待されます。今回の主権者教育も、その第一歩となる学びであったと感じています。これからも、児童・生徒たちが学校生活の中で主体的に考え、前向きに挑戦しながら成長していけるよう、教職員一同支えてまいります。



教育活動の紹介



就業技術科「ビジネスマナーの紹介」

就業技術科では、企業で役立つように、ビジネスマナーとビジネス情報処理を学びます。今回はその1つビジネスマナーを紹介します。講師は石川朝子先生です。

学習内容は1年から3年まで積み上がるようにしています。特に3年では、コース別の内容にしています。

例えば「ロジコース：電話対応、専門用語」、「食品コース：お客様への言葉遣い、タブーな話、接客用語」、「福祉コース：高齢者対応、子供への接し方」等です。

生徒から実習で困ったことを聞くと「雑談の仕方」「報告のタイミング」等があります。そのような質問に答えながら、生徒が安心して働けるよう学習を進めています。



肢体不自由教育部門高等部

自立活動を主とする教育課程

作業学習では、卒業後の生活に向け、自分からすすんで取り組もうとする意欲や姿勢を育み、自己有用感を高めていくことを目標に取り組んでいます。

生徒たちは自分の身体の動きに合わせた様々な道具や補助具を使って担当する作業に取り組みます。生徒の実態によっては、スイッチとタブレット端末、機械類を接続し、自分の意志で操作して作業ができるようにしています。



スイッチを使った
植物への水遣り

肢体不自由教育部門高等部

知的障害を併せ有する生徒の教育課程

職業では、教室やトイレの手洗い場を回り、不足している場所の液体石鹸を補充する作業に取り組んでいます。工程を細かく分け、役割分担をし、責任をもってやり遂げる力、手順を守って丁寧に取り組む姿勢、周りの人の役に立とうとする意欲などを育てています。



液体石鹸の補充

〒168-0064

東京都杉並区永福1丁目7番28号

電話 03-3323-1380

副校長

飯田 浩行 松本 忍 篠塚 奈緒子
主幹教諭

吉岡 美佳 池田 奈央子